

戦略的枠組み

2012-2015

世界をリードするアジア 太平洋ネットワーク構築 について



第 16 回 APRU 学長年次総会
於：オレゴン大学
2012 年 6 月 27-29 日
DRAFT AS OF 24 MAY 2012

APRU とは

- ❖ 42 の主要研究大学で構成
- ❖ 16 カ国・地域から参加
- ❖ 110,000 人の APRU 大学教員メンバー
- ❖ 1.7 百万人の APRU 大学学生がメンバー
- ❖ 総計 5 百億ドル以上の予算規模を持つ
- ❖ 活力と多様性に満ちた環太平洋地域に位置する



I. 好機

環太平洋は世界の中で最も活力に満ちた地域です。

環太平洋は**世界三大経済大国**を含み、中南米、東アジア、東南アジア、ロシア、オーストララシア、北米など先進国と途上国とが多様性に富んだミックスを織りなしています。

広大な太平洋に接し地球の三分の一を占める環太平洋諸国が共通の問題に直面しています。具体的には、経済発展の持続可能性、水資源、エネルギー、気候変動、人口動態変動、高齢化、伝染病と公衆衛生、格差と貧困、統治、自然災害等です。

この地域の高等教育と研究も変わりつつあります。特にアジアにおける大学システムに対する大規模な公的投資により、地域内に高いランキングの大学が増えるとともに、才能ある教員と学生の地域内そして地域を越えた流動性が生まれています。

APEC, ASEAN, ASEM, ARF, ADBといった**政府間組織**は地域の諸問題について各国が協力する枠組みを提供しています。

APRU はアジア太平洋地域のリーディング組織として高等教育と研究に関連するグローバルリーダーシップを提供しています。

APRU: アジア太平洋戦略はグローバル戦略です。



II. 次の段階

APRU は 1997 年に創設されました。APRU の創設者は来るべきアジア太平洋の世紀の中心となる環太平洋地域の出現に触発され、Berkeley, Caltech, UCLA および USC の学長はこの地域の大学学長にメンバー参加の声をかけました。

APRU の目指すところは以下 2 点を目指していました。

- ・ APEC 首脳に当該地域における科学技術の目指すべき方向を助言すること
- ・ 教育研究分野での協力関係を促進すること

APRU は幅広い領域で活動する成熟した組織として成長してきました。設立当初における学長会議の意図に沿いながら、APRU は以下項目を考慮しつつ広範囲にわたる活動を行ってきました。

- 学生中心であること
- 研究センターであること
- プロフェッショナルな標準化の構築
- 学術および大学経営のリーダー間のネットワーク構築

今後の改善目標

過去 15 年にわたり様々な事が変化しました。競争は激化し、世の中は益々複雑化し、研究型大学には多くが期待されています。情報技術の進展は新たな可能性を提供しています。現代社会は深刻な脅威に直面しつつも、希望ある未来への入口に立っています。

このような文脈の中で、APRU はメンバーと社会にどのような存在価値を発揮していけるのでしょうか？



III. APRUの戦略的構想

APRU はメンバー大学と密接に協調しながら、戦略的構想の要素を描いてきました。

- 相談** APRU が新戦略的関心ある問題についてより意味のある価値の提供を行う方法について、調査と面談を行いメンバー大学長と相談してきました。
- 優先付け** メンバー大学の学長とともに APRU 担当の教職員幹部とも APRU について得られた知見をより精査したうえで優先順位付けを行いました。
- 焦点化** 以下 3 つのテーマについて優先順位付けを行いました。

APRU は主要研究型大学の環太平洋ネットワークとして各メンバーの意識を一層高め、グローバル社会への貢献を目指します。

1) アジア太平洋地域の高等教育と研究の形成

APRU 加盟大学は協調して高等教育と研究の政策環境を整え、大学の将来に影響力ある経済界、政界、文化人に働き掛けてまいります。

2) アジア太平洋地域におけるグローバルリーダーの育成

APRU 加盟大学は教職員、学生及び大学組織自体のグローバルリーダー能力の増進のため協力してまいります。

3) アジア太平洋地域の課題解決のための提携促進

APRU 加盟大学は政府、実業界、国際機関、メンバー以外の大学および地域リーダーから選んだ提携先と地域における課題およびグローバルな課題の解決に向けて協働してまいります。



IV. 今後の展開

APRU は今後三年にわたりこの戦略的構想を実施してまいります。

具体的な手順は以下の通りです。

- 1) 2012 年の大学学長年次総会で関係者の協力同意を得ます(但し、基本構想に対し追加変更はあり得ることをお含みおさください)。
- 2) 各委員会(Steering Committee, Senior Staff Advisory Committee, Senior Staff Meeting)との協議を行い、今後 10 ヶ月の間に実施プランを策定します。

本計画は以下の項目を含んでいます。

- ・ 新たに提案されたプログラム
- ・ 現活動内容の評価と調整
- ・ 活動資源調達と広報



V. 実施に向けて

以下の表は APRU の現在および将来のプログラムの一例です。
プログラムについての意見等をお聞かせ頂ければ幸いです。

アジア太平洋地域の高等教育と研究の形成

現プログラム	改定プログラム案(大学学長とシニアスタッフ作成による)
年次学長会議 幹部職員会議(シニアスタッフミーティング) 学長フォーラム	研究型大学の将来と社会との関係、雇用に関連する大学の将来、長期予算確保等についての政策共同研究 危機と急激な変化の時代における主要研究大学のあり方について(学術部門と管理部門のリーダー交流を通じ、重要課題とベストプラクティスについてのシンポジウムのプログラム)
学部長会議: 教育 法律 農業	大学院生と職業訓練教育の将来 (例:大学院研究科長のネットワーク組成) 図書館員のネットワーク
最高情報責任者(CIO)フォーラム	イノベーション、商業化および知的財産(知的財産権と管理の原則作成への取り組み:技術の商業化の手法についての情報交換:企業家育成教育の共同しての取り組み等についてのプログラム作成)
大学博物館/美術館ネットワーク会議	



アジア太平洋地域におけるグローバルリーダーの育成

現プログラム	改定プログラム案【大学学長とシニアスタッフ作成による】
<p>学部生夏季プログラム</p> <p>博士課程院生会議</p> <p>研究生プログラム</p>	<p>APRU キャンパス-アジア太平洋地域に焦点を当てた APRU オンラインコースの進展を含む APRU 共通授業科目、遠隔講義と移動スキーム (例:太平洋研究またはアジア太平洋問題に特化したコースの相互認定)</p>
<p>パイロット APRU 移動スキーム:</p> <p>APRU インターン</p> <p>APRU 専門家交流</p> <p>APRU 研究生</p>	<p>アジア太平洋高等教育と研究分野における女性リーダー育成(女性学術研究者の戦略共有とリーダーシップ強化のためのアジア太平洋地域におけるネットワーク作りのプログラム)</p> <p>国際化と専門性の強化(教職員の為の国際化・国際関係についての訓練/指導プログラム)</p>

アジア太平洋地域の課題解決のための提携促進

現プログラム	改定プログラム案【大学学長とシニアスタッフ作成による】
<p>研究・政策プログラム/アジアの重要課題にかかるシンポジウム</p> <p>持続可能性と気候変動プログラム(UCSD 実施)</p> <p>マルチハザードシンポジウム(地震、津波、食糧および火山活動)</p> <p>グローバル保健衛生プログラム</p> <p>アジア太平洋地域における高齢化問題シンポジウム</p> <p>脳と心のアジア太平洋神経科学シンポジウム</p> <p>教育および研究技術年次フォーラム</p>	<p>現行 APRU プログラムの影響力の強化(例:研究政策論文の発行、プレスリリースを通じメディアの注目度を高める;教員間のリンクを強化しメンバーの研究能力強化;APRU シニアスタッフの大学幹部登用により大学内存在感の推進;潜在的資金提供者との提携関係を樹立し、関連機関に働き掛ける;メンバーは教員学生が APRU 研究政策の戦略的取り組みのための資金の確保に努める。</p> <p>格差、貧困、人間の安全保障-APRU メンバーはこれらの分野に必要な高い能力を有する。APRU はメンバー間の関係を確立するためのアクションプラン作成を前進させることができる(例:夏期講座の開設、これらのテーマについて移動講座の設営、発展途上国における学生教員共同組織の研究行動プログラムを支援する芽を育てる)</p> <p>グローバル・ガバナンスとアジア太平洋の課題-APRU メンバー大学学長は国際関係に於いてより大きな役割を果たすことができる。何故なら APRU は政策プラットフォームとして発展してきており、当該地域の高等教育と研究の将来について、また APRU が特に専門的知見を持つ地域の課題等の重要問題について影響力を強化していくことが可能である。APEC や国連等国際機関との連携促進にも考慮を払う必要がある。</p>